

## 日本国民にとって民族の独立こそが、すべての歴史的・政治的な問題の凝集点

民族の独立と国民教育の課題 (3)

上原専禄 (元一橋大学学長)

(小見出しは読みやすくするため編集部がつけました)

【社会の民主化の問題と貧乏の根絶、生活の向上という問題】

[第一は、世界平和をどう確立していくかという問題、第二は、民族の独立と総称される問題を上原さんは指摘しました。第3回の今号は、それにつづくものです 編集部注記]

第三は、いうまでもなく社会の民主化の問題であります。これも、かならずしも第二次世界大戦後になって初めて起こった問題ではなく、ヨーロッパではすでに十七世紀または十八世紀から起こってきた動きではありますが、それが第一次世界大戦の終わりに起こったロシア革命の動きにも媒介されて、全世界的に社会の民主化の動きが出てまいりました。

この第三の動きと密接にからみ合っ出てきた問題、これも新しい問題ではないけれども、世界の深刻な問題になり、また世界の世論になってきた問題として、貧乏の根絶、生活の向上という問題があります。十七世紀、十八世紀の世界についていいますと、そういった積極的な動きはヨーロッパの一隅だけにしか存在しなかったかもしれません。しかしながら、それは第一次大戦後、全世界の問題になり、それも貧乏にあえいでいる民衆それ自身が、貧乏の根絶に対して積極的な動きをするようになってまいりました。

いうまでもなく、この第三の社会の民主化、第四の貧乏の根絶と生活の向上という

問題に関係して、国際政治の問題にもなり、あるいは世界経済の大きな問題にもなってきたものが、社会主義か資本主義か、という問題であります。この問題が社会体制の問題としてはっきりした形で出てきたのは、第一次世界大戦後のことではありますが、とくに第二次世界大戦後になって、この問題が世界平和確立の経済的基盤の問題として出てきたと思うのであります。

以上の四つの問題のほかにも、第二次世界大戦以後、過去五、六千年来の歴史にはなかった深さをもって出てきた問題がありましようが、とくにこの四つの問題は、やはり第一次世界大戦後の世界の新しい問題、またどこの地域にも共通に見られる特徴的な問題だと思うのであります。

【人間の尊厳と平和・独立・民主主義・生活向上の4つの問題】

ところで、これらの問題は、さきほど申しましたように、単なる一時の趨勢とか流行にすぎない問題かということ、そうではありません。そのような問題の中には、問題原理とも呼んでいいような、もっと深いものが含まれているように思うのであります。世界平和確立の問題といい、民族独立の問題といい、社会の民主化の問題といい、貧乏根絶の問題といい、それは一と口にいうと、いったい人間とはなにか、人間の尊厳を実証することができるかどうか、という問題であります。生存の保障、生活の向上という事態が実際に確保されていかなか

たならば、いかに生命は尊いものだ、人格は尊厳だ、などといったてても、それは観念的な空論にすぎない。人間自身の力によって世界の平和が確立され、貧乏が根絶され、個人・集団の自由が確保されてゆかなければ、生命の尊貴というものは観念的なものになってしまい、人格の尊厳ということもカラ念仏に終わってしまう。人格の尊厳は事実の上で証明されうるものかどうかという問題原理にかかわる歴史的・政治的な問題事象として、第二次世界大戦後、大きくつかむならば、さきほど申しましたような四つばかりの大きな問題が展開されてきたのだと思う。そうだとすると、第二次世界大戦後、世界のどこでも出てきた歴史的・政治的問題は、政治の問題とはいいながら、人間というものはなにを生き甲斐として生きているのだろうか、人間とはいったいなにを意味するのだろうか、という問題にかかわったものであり、したがって、単なる日常的意味における政治の問題のワクをこえた、はるかに深い意味をもった問題だといわざるをえません。したがって教育の問題を考える場合には、そのような意味における歴史的・政治的な問題にかかわらざるをえないのであります。

【日本国民にとって独立の問題が4つの問題の凝集点】

ところで、そのような世界平和の確立、民族独立の達成、社会民主化の実現、貧乏の根絶という問題は、いわば世界全体の問題であり、世界のすべての国、すべての民族に共通する問題であるには違いないのですが、それらの問題を個々の民族、個々の国が受けとめていく、その受けとめ方は、それぞれの民族や国がおかれている歴史

的・政治的問題情況の違いに応じて、かならずしも同じではあり得ない、と思うのであります。私は、第二次世界大戦後の世界の政治問題として、世界平和の確立など四つほどの問題をあげたわけですが、とくに現在の時点、今日的時点に立って、日本国民にとっての問題はなにかというと、それは第二にあげました民族の独立こそが、すべての歴史的・政治的な問題の凝集点として、とくに重視されねばならない問題であると思う。(太字は「草の根ニュース」編集部による)したがってこの問題の克服なしには、世界平和の確立といっても、社会の民主化といっても、観念的な問題になってしまう、そのような問題として、民族の独立という問題が日本国民の前に横たわっている、こう私は考えるのであります。

私たちは先ほどの基調報告の中で、世界平和の確立、民族の独立、社会の民主化というような歴史的・政治的な問題と闘ってきた教師の経験が、どのように教育実践の上で生かされていくべきであるか、ということについて、この研究集会で反省や研究をしなければならぬ、というお話を承わったわけではありますが、私たちは、問題をできるだけ幅広く考えなければならぬと同時に、できるだけ实际的、具体的、現実的に考えていかなければならぬ。そうだとすると、民族の独立という問題こそが、現時点における日本国民にとってのあらゆる問題の集約点であり、凝集点であり、この問題を主軸として、ほかの問題の解決が行われるべきである、と言わざるを得ない。(太字は「草の根ニュース」編集部による)この問題を抜きにすると、たとえば、世界平和の確立といっても、それはカラ念仏にすぎないものになってしまう、と思うのであります。その点をハッキリさせるためには、民族の独立ということがアジア・アフリカの諸国においてどのように自覚さ

れてきたか、民族の独立という問題意識に  
どういう発展なり展開なりがあったか、そ  
れらについて考えてみる必要があると思っ  
たのであります。(続く)

【編集部から 1961 年の上原専禄さんの講  
演から、すでに 52 年がたちました。上原さ  
んは「民族の独立という問題こそが、現時点にお  
ける日本国民にとってのあらゆる問題の集約点で  
あり、凝集点であり、この問題を主軸として、ほ  
かの問題の解決が行われるべきである」と述べま  
した。このことは、2013 年の現在、あては  
まることでしょうか？例えば原発事故の問  
題を取り上げましょう。

#### 原発ゼロと民族独立の課題

原子力発電所は、日本では第 1 に、国民  
を安全神話でだましながら、他方ではお金  
をばらまいて地方自治体や住民を買収する  
ことによって導入されました。これは、民  
主主義に関わる重大な問題です。

第 2 に、原発は潜在的核抑止力だから維  
持すべきだ、という石破自民党幹事長の発  
言にも見られるように、原発燃料は、核兵  
器製造のためのウラン濃縮工程の産物であ  
り、世界平和にとって極めて危険なもので  
す。しかも、日本の原発ウラン燃料の 73%  
は、米国製であり、米軍の核兵器製造工程  
を維持する役割を果たしているのです。

第 3 に、今もフクシマ原発事故で、避難  
生活を余儀なくされている人々が家族離散  
の方々を含め約 20 万人もいることやその放  
射能汚染問題は未来の世代にまで影響を与  
える生存・生活の問題です。

第 4 に、そしてそれが決定的な問題なの  
ですが、米日巨大独占資本(財界)原子力  
ムラが推し進めてきたエネルギーの対米従  
属政策・体制こそが世界第 3 位といわれる  
54 基の原発導入の根底にあるのです。

アイゼンハワー米大統領の 1953 年の「ア  
トムズ フォア ピース」(原子力の平和利  
用)演説は、米日支配層から見た日本国民  
の「核アレルギー」を弱めることも目的で  
した。正力松太郎、中曽根康弘など CIA の  
エイジェント又は協力者らによって精力的  
に行われた原発導入政策こそ、対米従属の  
エネルギー政策でした。原発導入は、自主  
的なエネルギー政策を主張する世界的に優  
れた日本の物理学者たち例えばノーベル賞  
受賞の湯川秀樹博士などを排除して進めら  
れました。まさに、対米従属政府の責任で  
した。そして今もそれは続いています。

民族独立の課題は、原発ゼロを実現する  
課題の一つです。

対米従属エネルギー政策の中核として存  
在する原発からの脱却、自主的で平和的で、  
環境に優しいエネルギー政策は対米従属的  
エネルギー政策の転換、エネルギーの面で  
の民族独立を意味します。

対米従属政府を支えている権力は、最終  
的には米軍基地や自衛隊という軍事力です。  
脱原発の闘いも、違憲の米軍基地をなくし、  
米軍に従属し憲法に違反する自衛隊を災害  
救助国土保全隊に変える闘い、真に自主的  
で独立した憲法を実現する国民の政府をつ  
くる闘い、民族独立の闘いと結びつき、そ  
こへ結集しなければならないのです。

民族の独立こそ、現在の原発問題でも必  
要な課題であり凝集点である事を理解する  
必要があります。

民族の独立は、基地提供条約の破棄による米  
軍の撤退、憲法 9 条の実現、それを実行する  
国民の政府の樹立によって達成します。このよ  
うな国民の政府は、1 党 1 派の力では実現しませ  
ん。ですから、共同戦線、統一戦線を作ること  
に、日本の真の独立を望む国民は全力を傾けな  
なければならないのです。(平山基生)】